

卒業生調査 アンケート回答まとめ(2026 年度)

今年度は、2017 年度と 2022 年度の卒業・修了生に対してアンケートを実施した。

1. アンケート実施の期間等

2026 年 7 月 30 日～8 月 31 日

グーグルフォームによる調査票配布と回収

2. アンケートの回収数とプロフィール

① 回収数：51 件

② 卒業・修了所属

製造学科・総合機械学科	21
建設学科	25
ものづくり学研究科	5
計	51

③ 勤務先の業種

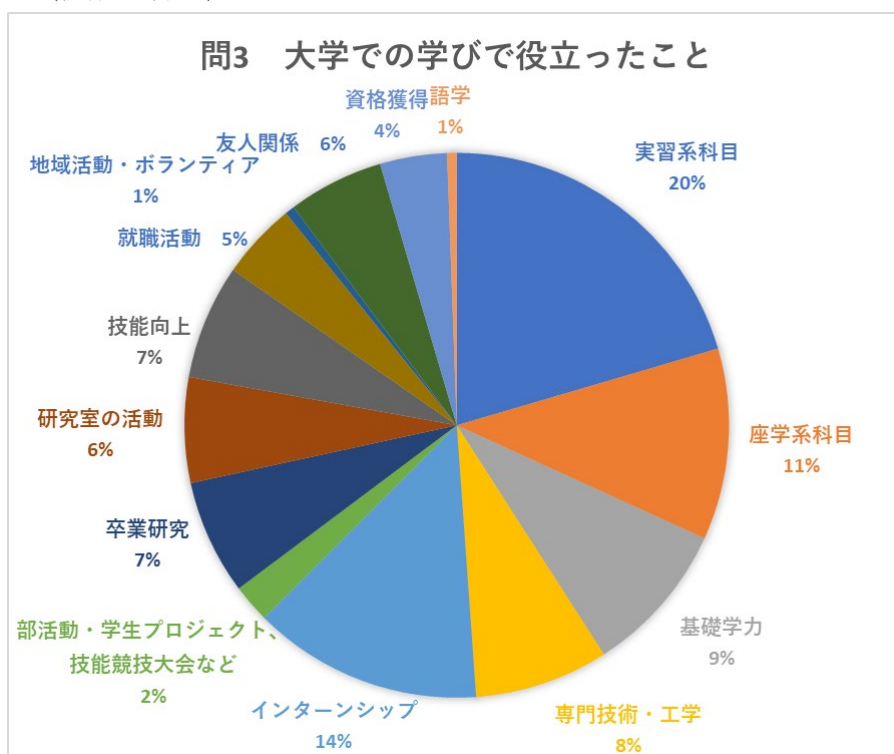
製造業	20
建設業	19
不動産業	1
運輸業	1
サービス業	3
卸売・小売業	2
情報通信業	1
公務員（団体職員含む）	3
その他:	1
計	51

④ 勤務先の職種

技能職	11
設計技術職	10
管理監督職	6
生産技術職	8
サービス職	1
営業職	1
事務職	4
その他	9
計	50

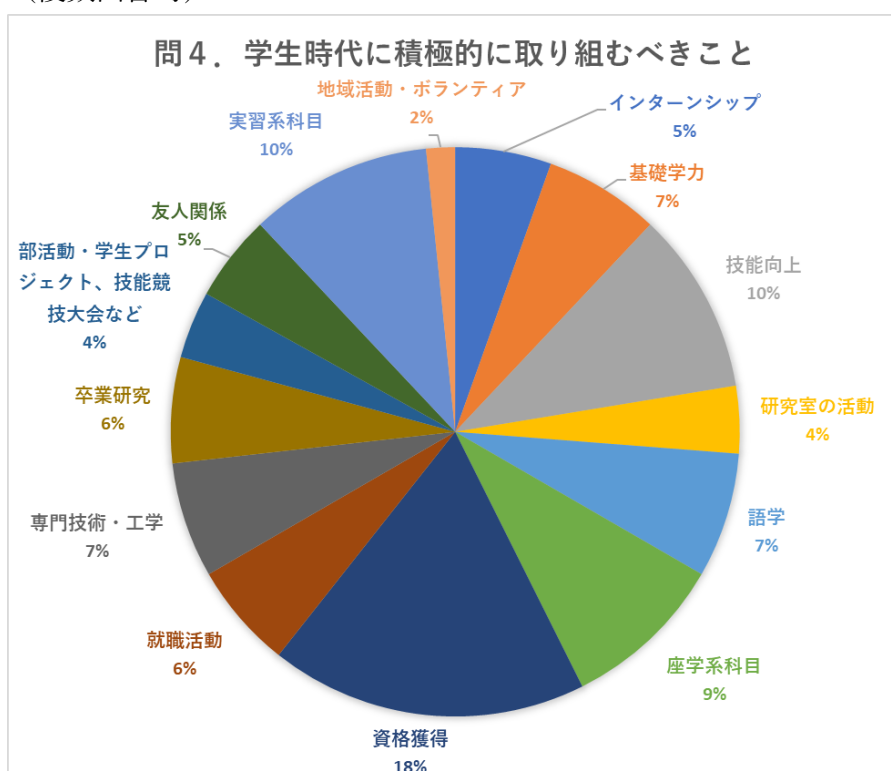
3. 調査結果

- ① 問3. 大学での学びが役に立っていることがあれば具体的に教えてください。
(複数回答可)



1位が「実習系科目」、2位が「インターンシップ」、と本学の教育の強みである特徴をあげた卒業生が多かった。3位は「座学科目」となり実習や実技に伴う、座学科目の必要性が感じられる結果となり、語学や地域活動はともて低い結果となった。

- ② 問4. 学生時代に積極的に取り組むべきだったと思うことはありますか？
(複数回答可)



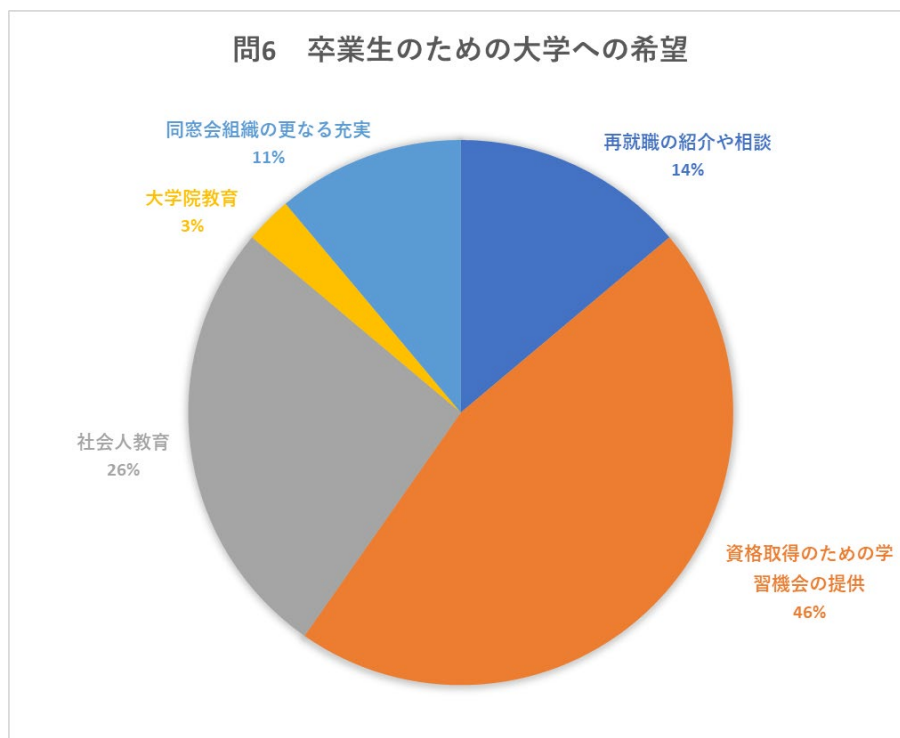
まんべんなく挙げられているが、1位は昨年と同じく「資格獲得」、2位は「技能向上」「実習系科目」、3位は「座学系科目」となった。また、問3同様に、実習系の割合が大きくなっている。

③ 問5. 大学で学んでおきたかったことがあれば、教えてください。(自由記述)

上記にも書いたが、電気系全般はがあると便利だと思います。(設計でも電気が分かると便利になるし仕事の幅が広がります。)
もっと図面関係の勉強をするべきだった。
フォークリフトや電気工具等の講習、資格取得
現代社会の関わり方
年金対策
技能職としての学びは多いが、「施工管理者」としての授業が意外と少ない気がする (管理側の授業)・社会人マナーではなく常識人マナーも？
2級建築士学科試験に沿った座学系の講義
社会経験(インターンシップ以外の色んな業種の実務経験)
基礎学力幅広い友人関係など
電気や電子関係
ロジカルシンキングやディベート等
論理的な説明能力
実用的な現場(木造住宅)の工具や金物の名称と使用した際の効果
建設学科卒業生として、測量やCADについて、より実践的に学ぶ機会があれば良かったと感じています。在学中、測量やCADを扱う授業・実習の必修科目が少なく、それ以外は個人で選択する形となっていました。そのため、私自身、社会に出てから測量技術について入社1年目に苦労したことを覚えています。また、CADは建設業に携わるうえで非常に重要なスキルであり、身につけることで卒業後の進路の選択肢を広げることにもつながると思います。そのため、測量やCADについて、より多くの学生が実践的な技術を学べる機会があれば、卒業後の実務にもつながる、さらに充実した学びになるのではないかと思います。
資格取得がいかに大切かと社会に出ると確実に求められる資格
建設業界について
人間関係

主に資格関係や業務について挙げる人も多かったが、年金対策や人間関係についても回答があった。

- ④ 問6. 卒業（修了）生のために、どのようなことを大学に希望しますか？当てはまるものを選択してください。（3つまで選択可）



1 位は「資格取得関係」、回答した半数近くの卒業生が希望をしており、次いで「社会人教育」となっている。また「再就職の紹介や相談」も 14%と希望する卒業生が見受けられる。

- ⑤ 問7. その他、大学に求めることがあれば、自由にご記入ください。

大学寮の料金の引き下げ、木造実習の充実
とても頑張って下さっていた事を知りました。ありがとう御座いました。
技能試験対策のように建築士や CAD 検定等の対策が充実していれば在学生にとっても良いと思います。
働き始めて、初めて学んだことを活かせると思う。
資格取得の重要性と若いうちに取ることの大切さの教育

資格の重要性や資格取得に伴う対策について希望があった。また、木造実習に対しての声があった。

以上